

2022.06.16. 木曜礼拝

イエスとの歩み方 Leitu 牧師

今夜は、エペソ人への手紙から教えたいと思います。エペソ人への手紙 5 章 1 節から 20 節です。このメッセージのタイトルは、『イエスとの歩み方』始める前に、祈りましょう。

お父さま、今夜私たちはあなたの御座に参ります。あなたの御言葉を私たちに教えようとされているこの時を、あなたに委ねます。あなたが私たちを導いてくださいます、主よ。主よ、あなたと共に歩むことがどうということかを。主よ、今夜学ぶことを自分の人生に適用できるように助けてください。

もう一度主よ、あなたの聖霊が、今夜私たちを教え、導いてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

2000 年に、私はイエスに人生を捧げました。カルバリーチャペル・ホノルルに通い始めました。その時、ストーンブレイカーが私の牧師でした。当時は、ホノルルのダウンタウンにあった旧エンプレスシアターで集まっていたんです。毎年、私たちの教会で、クリスチャンのカンファレンスが開催されていました。『歩み方』というものでした。覚えている方もおられるでしょう。救われた年に初めて行きました。私は、このイベントに奉仕で参加しました。シェラトン・ワイキキ・ホテルで開催されていました。

チャックスミス牧師、グレッグローリー氏、ロールリース氏が登壇されました。この時、私は初めてのカンファレンスで、チャック・スミス牧師にお会いすることができました。彼は昔も今も、愛される人です。彼は今、主のもとに帰られました。彼が地上にいる間、神は彼を偉大な方法で用いられました。彼は、最初のカルバリーチャペルを始めました。ロスのコスタメサで始めました。現在、世界中に 2000 以上のカルバリー・チャペルがあります。私は警備に当たっていたので、挨拶だけさせてもらいました。

ケーライトラジオでずっと聴いていたので、とても嬉しかったです。妻のジーニーも彼に会うことができました。彼は、妻が働いているシェラトン・ワイキキにランチに行ったのです。エペソ人への手紙 5 章は、素晴らしい章です。使徒パウロは、私たちに励ましたいのです。私たちに教えたいのです。パウロは私たちに、イエスとの歩み方について教えたいのです。1 節から 7 節は、私たちがどのように愛の中を歩むべきか、8 節から 14 節では、闇の中ではなく、神の光の中でどのように歩むべきか、15 節から 20 節では、知恵の中でどのように歩むべきか。パウロはこの手紙をローマの牢獄の中で書きます。当時は AD60 年です。イエスはその約 30 年前に十字架にかけられました。教会は急成長しています。クリスチャンは信仰のために迫害されています。神は御座におられ、聖書にあるように、クリスチャンをキリストの花嫁として見ておられます。イエスは、私たちの花婿です。イエスは、私たちが救われるために命を捧げられたのです。いつか私たちは救い主のもとに行き、天国で救い主と永遠に一緒に過ごすことができます。

黙示録 19 章には、私たちは子羊の晚餐を待ち望み、また子羊との婚姻が完了することを待ち望むとあります。しかしそれまでは、私たちは花嫁であり、イエスの教会であり、婚約者のようなもので、婚約は忠実に保たれています。私たちキリストの花嫁は、主に忠実であり続けるのです。私たちは、主とともに歩むことに忠実であり続け、どう愛するかにおいて忠実であり続け、どう生きるかにおいて忠実であり続けるのです。聖霊が私たちを導かれます。聖霊が、行くべき道を示されます。「聖別」という言葉を見てください。神に使われるために取り分けられるということです。私たちが新生したとき、聖霊が入ってこられ、私たちを封印してください。つまり、新しい所有者のもとになったということです。私たちは今、主イエスのものです。主は私たちの中に、変化を起こし始められます。第二コリント 3 章 18 節に

こう書かれています。

II コリント 3

18 私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じ形に姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

神は私たちの心を切り離し、私たちの心を世の中のものから切り離されたのです。私たちの思いや心は、大きく変えられます。神は私たちの思いを新しくされ、神の似姿に変えられていくのです。神性ではなく、神の似姿、神の愛、神のご性質に。ガラテヤ人への手紙 5 章 22 節から 23 節。聖霊は私たちの人生に、このような実を結ばせてくださいます。

愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制。

神は御霊によって働き、私たちを御子に似せようとしておられるのです。第二コリント人への手紙 2 章 18 節で、パウロは、変えられた人、栄光から栄光へと変えられていく人のことを述べています。はしごをイメージしてください。一段一段上っていくと、頂上に近づいていきます。聖書を読み始め、祈り、教会に通うことで、私たちは成長します。主との歩みの中で、昨日と今日は同じではありません。明日は、さらに成長することを学びながら、さらに輝きを増していくことでしょう。私たちがより多く学ぶことで、神の原則を生活に適用し、成長に時間がかかる人もいますが、栄光から栄光へとキリストにおいて成長し続けることが期待されているのです。ですから、聖別とは、神が別けられることです。神は私たちをこの世から別けられるのです。私たちを良い方向に変えてくださいます。私たちは、よりイエスのようになり、墮落した性質を持つ古い自分とは違う存在となるのです。第二コリント 5 章 17 節に書かれています。

II コリント 5

17 ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

私たちはただ、主の愛に、主が新たにしてくださることに、主が私たちの心と思いを変えてくださることに、日々感謝するのです。これを前置きとして、今夜の箇所を見ていきましょう。エペソ人への手紙 5 章 1 節、2 節。

エペソ 5

1 ですから、愛されている子どもらしく、神に倣う者となりなさい。

2 また、愛のうちに歩みなさい。キリストも私たちを愛して、私たちのために、ご自分を神へのささげ物、またいけにえとし、芳ばしい香りを捧げてくださいました。

聖霊が私たちを栄光から栄光へと変えてくださいます。私たちはより神に倣うようになります。主がどのように愛されたかを倣うことができるのです。主が私たちの模範です。主は、私たちが従うべき私たちの手本なのです。私たちは神の子であるという特権があります。私たちはこの世界で、私たちの人生のすべての領域で、神をうまく表したいのです。仕事の中で、私たちは神に倣うことができます。上司や仲間を愛せるのです。最善を尽くし、一生懸命働きます。私たちは、仕事の仕方によって、希望の種を植え始めることができます。人とは違う存在でありたいです。私たちは、自分の行動が変化をもたらすことを望んでいます。第一ペテロの手紙 2 章 9 節に書かれています。

I ペテロ 2

9 しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた（特有の）民です。

「peculiar/特有の」という言葉は、私たちが他とは違う、珍しい、奇妙な存在であるという意味です。私たちはそうなのです。そうあるべきなのです。私たちは世界の流れに逆らって泳いでいるのです。イエスを拒絶する世界のシステムに。私たちは、神の愛を共有することを拒否することによって、世界が私たちを扱うのと同じように反応することはできません。私たちは、たとえ彼らが私たちや主を拒んだとしても、正しいことをして彼らを愛することができるのです。イエスが救いに至る唯一の道であることを知っています。私たちの同僚には、イエスが必要です。コロサイ人への手紙 3 章 22 節から 24 節。

コロサイ 3

22 奴隷たちよ。すべてのことについて地上の主人に従いなさい。人のご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、主を恐れつつ、真心から従いなさい。

23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。

24 あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

私たちは、仕事に最善を尽くすことで、愛を表現します。本当に主のために働いているのです。私たちの行動や態度が、大きな違いを生むのです。私たちの祈りと希望は、救われること、私たちの同僚、友人の救いです。私たちの家庭や家族はどうでしょうか。私たちはそこでも、イエスに倣うことができます。私たちは新しく生まれ変わりました。私たちは、早くキリストのことを他の人に伝えたいと思い、次に、家族の集まりでイエスを伝えたために迫害されます。私たちの家族は今、私たちと距離を置いています。彼らは福音について聞きたくないのです。彼らは、「生まれ変わったクリスチャンの一人じゃないだろうな？」だから、私たちは彼らのために祈り続け、家族の集まりにも参加し続けるのです。あなたの家族があなたとあなたの新しい人生を蔑んでいても、私たちは愛の模範によってイエスに倣うのです。正直言って、私は主のもとに来たとき、燃えていましたし、今もそうです。家族の集まりで新人信者として、大胆にイエスと自分の信仰を家族に伝えました。彼らは無反応で、私は拒絶されたように感じました。彼らは昔の私を待っていたのです。彼らは、私がパーティーを始めるのを待っていたのです。家族と過ごすのは、今までと違います。救われる前の B.C.時代、私はパーティーの中心的存在でした。アルコールが溢れ、舌が動き、家族の話題は無秩序に続きます。まずスポーツと政治、そしてくだらないこと。いつも最後は神の話をするんです。私が全く理解していない話題でした。私は神を信じていましたが神を知りませんでした。今は、私はイエスを知り、イエスを本当に愛しています。自分の過ちを告白しなければなりません。しばらくは家族と距離を置いていました。愛する家族だからこそ、傷ついたので。しかし今は、再び家族を訪ねるようになりました。私の母は、2018年に亡くなる前、妹と一緒に教会に来ました。彼女たちはそこに座っていました。ショックと驚きでいっぱいでした。彼女たちは初めて、私がここで賛美をリードするのを見聞きしたのです。彼女たちは、私がギターを弾いたり、歌ったりするのを見たことがなかったのです。母の表情が、私の心に響きました。彼女は、アルコール依存症の息子が教会で新しい姿でいるのを見たのです。彼女は、神への心を持った息子が、今、神の民を導き、歌い、賛美しているのを見たのです。私の母はトケラウで育ちました。サモアの北にある小さな珊瑚礁の島々です。その海は、今も透き通るように青いです。機会があれば、グーグルマップでトケラウを探してみてください。美しい島々です。周りには煙が立ち込めています。今でもカヌーで釣りをします。モーターはついていますが。トケラウでは、日曜日誰もが教会へ行きます。母の家族の何人かはトケラウにいて、宣教師でした。母からニューギニアに行った親戚の話聞かせてもらいました。彼らはニューギニアに行っている時に、自

分の信仰を話したことで、殺されたのです。私たち家族は、幼い頃から教会に行ったことはありませんでした。私は幼少期、教会に行ったことはありません。教会に足を踏み入れたことはありませんでした。私の母はカルバリーチャペル・カネオへで、再び神の御言葉を聞いています。彼女が亡くなったとき、ここカハルウの自宅の庭での彼女の追悼式で話をしました。ですから、決して家族のことをあきらめないでください。アーメン？（会衆：アーメン）あなたの心は彼らを愛し、救われることを望み、打開を祈り続けてください。勝利を目にした方も多いと思います。あなたの家族の何人かが、あるいは多くの人が、キリストのもとに来ました。あなたの祝福を主に感謝します。第一コリント人への手紙 13 章 1 節にこう書かれています。

1 コリント 13

1 たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。

1 コリント 13

13 こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。

もし私がここに立って神の御言葉を教えても、神や人々への愛がなかったら、ただ騒がしいだけです。救い主であるイエスのことを話すときに、雑音を出したくありません。そんなひどい人生から、イエスは私を救ってくださいました。イエスが私のためにして下さったことに、とても感謝しています。私はイエスを真似たいのです。イエスが人を愛したように、私は愛したいです。イエスは私たちに、神を愛し、人々を愛するように仰いました。マタイの福音書 22 章 37 節から 39 節。

マタイ 22

37 イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』

マタイ 22

38 これが、重要な第一の戒めです。

マタイ 22

29 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』

という第二の戒めも、それと同じように重要です。

多くの方々と同じように、私もイエスに倣い、しっかりと表していきたいと思っています。神が私にしてくださいましたことを、決して忘れません。御子イエスがいかに進んで十字架にかかれたことか。日々、主に感謝しています。私がデボーションをするのに一番好きな場所は、ここテンプルバレーの墓地です。私は毎日そこに行き、その場所に行き、…丘の上に十字架があるのを知っていますか？ ここで毎朝過ごし、主と対話します。私の人生にしてくださいましたこと、ここカルバリーチャペル・カネオへでしてくださいましたこと、世界中でしてくださいしていること、人々を引き寄せてくださっていることに毎日感謝をしています。私は、泥沼から抜け出してきたことを決して忘れません。その中で長く生き過ぎたのです。私は日々の歩みの中で、神をよく表していきたいのです。ここにいる皆さんはクリスチャンで、主を愛していることがわかります。皆さんも同じ思いで学び続けていることと思います。エペソ人への手紙 5 章 3 節から 7 節に書かれています。

エペソ 5

3あなたがたの間では、聖徒にふさわしく、淫らな行いも、どんな汚れも、またむさぼりも、口にすることさえしてはいけません。

4また、わいせつなことや、愚かなおしゃべり、下品な冗談もそうです。これらは、ふさわしくありません。むしろ、口にすべきは感謝のことばです。

5このことをよく知っておきなさい。淫らな者、汚れた者、貪る者は偶像礼拝者であって、こういう者はだれも、キリストと神との御国を受け継ぐことができません。

6だれにも空しいことばでだまされてはいけません。こういう行いのゆえに、神の怒りは不従順の子らに下るのです。

7ですから、彼らの仲間になってはいけません。

つまり、イエスのようにになりたいと思うことの反対は、イエスの悪い証人になることなのです。この世界では、多くの人がクリスチャンであると公言しています。彼らの生活や行動は、違うことを語っています。彼らは大丈夫だと思っていますが、神の御言葉を知らないのです。神は3節で仰います。

「あなたがたの間で、これらの罪があってはならない」

また3節に、神はパウロにこうも書かせられました。

「そのような罪は神の民の中にあってはならない。」

それでは、見ていきましょう。性的不道徳、不品行、貪り、わいせつな話、愚かなおしゃべり、悪い冗談、5節にこうあります。不道徳な生活、不純な生活、貪欲な生活をしている者は、天国に行くことはできない。救われたのなら、天国行きです。あなたは携挙の準備ができています。聖霊の力によって封印されるのです。エペソ人への手紙1章13節から14節。

エペソ 1

13子のキリストにあって、あなたがたもまた、真理のことば、あなたがたの救いの福音を聞いてそれを信じたことにより、約束の聖霊によって証印を押されました。

14聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。このことは、私たちが贖われて神のものとされ、神の栄光がほめたたえられるためです。

私たちには神の印が押されているのです。その封印は誰にも奪えません。私たちが持っているこの遺産、それは天国です。私も皆さんと同じように、救われていない人たちのためにいつも祈っています。いつかは悔い改めることを願っています。「悔い改め」という言葉が大好きです。それは単純に、神から逃げるのをやめるということです。曲がり、向きを変えること。神に向かって走り出すことです。その結果、いつも祝福されます。ヨハネの福音書3章で、イエスはニコデモにこう仰いました。

「人は新しく生まれなければ、神の国を見ることは出来ません。」また、ヤシの木や巨大な榎の木が揺れるような、目に見えない風についても言及されました。風の影響は見えるが、風は見えないと。イエスが言及される風とは、聖霊のことです。聖霊が人のいのちに入るところを見ることはないですが、聖霊による変化を見ることができます。そして、信者の生活は一変します。自分自身の生活から逃げ出します。別人です。神の御心を傷つけないのです。神を喜ばせることを始めたいのです。もし、ある人があなたに、彼は神を愛しているが、自分のすべきことに反して生活している、と言ったら、神は知っておられ、見ておられます。マタイの福音書7章21節から23節で、イエスは仰いました。

マタイ 7

21わたしに向かって『主よ、主よ』という者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの

父のみこころを行う者が入るのです。

マタイ 7

22 その日には多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』

23 しかし、わたしはそのとき、彼らにはっきりと言います。『わたしはおまえたちを全く知らない。不法を行う者たち、わたしから離れていけ。』

真の信者で完璧な人はいません。真のクリスチャンが罪を犯すのを見ることはほとんどありません。まあ、彼らの心の中にある考えを見ることはできませんが。あなたは私の心の中の考えを見ることができないし、私はあなたの心の中の考えを見ることはできません。私たちの思考は必ずしも純粹ではありません。天国のこちら側では、私たちの罪の性質を取り除くことはできないのです。チャック牧師がいつも言っていたことを思い出します。

「罪を見たら、逃げなさい。」エペソ人への手紙4章21節から24節。

エペソ 4

21 ただし、本当にあなたがたがキリストについて聞き、キリストにあつて教えられているとすれば、です。真理はイエスにあるのですから。

22 その教えとは、あなたがたの以前の生活について言えば、人を欺く情欲によって腐敗していく古い人を、あなたがたが脱ぎ捨てること、

23 また、あなたがたが霊と心において新しくされ続け、

24 真理に基づく義をもって、神にかたどり造られた新しい人を着ることでした。

新約聖書の3分の1を記した使徒パウロですが、パウロがずっと葛藤してきた罪があります。ローマ人への手紙7章に、そのことが書かれています。その罪が何であるかは語っていません。しかし、この肉体で生きている限り、罪が問題となることを教えているのです。このようにパウロは自分自身とその葛藤を語ったのです。これはローマ人への手紙7章にあります。14節から、8章1節までお読みします。

ローマ 7

14 私たちは、律法が霊的なものであることを知っています。しかし、私は肉的な者であり、売り渡されて罪の下にある者です。

15 わたしには、自分のしていることが分かりません。自分がしたいと願うことはせずに、むしろ自分が憎んでいることを行っているからです。

16 自分のしたくないことを行っているなら、私は律法に同意し、それを良いものと認めていることになります。

17 ですから、今それを行っているのは、もはや私ではなく、私のうちに住んでいる罪なのです。

18 私は、自分のうちに、すなわち自分の肉のうちに善が住んでいないことを知っています。私には良いことをしたいという願いがいつもあるのに、実行できないからです。

19—私は、したいと願う善を行わないで、したくない悪を行っています。

20 私が自分でしたくないことをしているなら、それを行っているのは、もはや私ではなく、私の内に住んでいる罪です。

21 そういうわけで、善を行いたいと願っている、その私に悪が存在すると言う原理を、私は見出します。

22 私は、内なる人としては、神の律法を喜んでいます、(パウロが語っています)

23 私のからだには異なる律法があって、それが私の心の律法に対して戦いを挑み、私を、からだにある罪の律法のうちにとりこにしていることが分かるのです。

24 私は本当にみじめな人間です。だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。

25 私たちの主イエス・キリストを通して、神に感謝します。こうして、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。

そして、ローマ 8 章 1 節で、パウロはこう語ります。

ローマ 8

1 こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

condemnation/罪に定めるという単語は、有罪であると宣告する、罰を宣告する、という意味です。クリスチャンは、罪に定められることはありません。キリストの血は、私たちのすべての罪をきよめます。もし、あなたが信者でないなら、罪の定めが待っているのです。つまり、もしあなたがイエスを信じなければ、大変なことになるのです。再度、エペソ人への手紙 5 章 6 節で、パウロは語っています。

「だまされてはいけません。自分の罪を言い逃れようとする人に騙されてはいけません。」第一ヨハネの手紙 1 章 10 節にこう書かれています。

I ヨハネ 1

10 もし罪を犯したことがないと言うなら、私たちは神を偽り物とすることになり、私たちのうちに神のことばはありません。

エペソ人への手紙 5 章 7 節にはこうあります。

エペソ 5

7 ですから、彼らの仲間になってはいけません。

ヨハネの福音書 3 章 17 節から 21 節にはこうあります。

ヨハネ 3

17 神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

18 御子を信じる者はさばかれぬ。信じない者はすでにさばかれている。神のひとり子の名を信じなかったからである。

さばきはこの事実に基づいているのです。

19 そのさばきとは、光が世に来ているのに、自分の行いが悪いために、人々が光よりも闇を愛したことである。

20 悪を行う者はみな、光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光の方に来ない。

21 しかし、真理を行う者は、その行いが神にあってなされたことが明らかになるように、光の方に来る。

私たちはヨハネの福音書 14 章 6 節を知っています。

ヨハネ 14

6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。

ですから、救いを拒む者は、結果的に罪に定められることになるのです。救いがなければ、良い終わり方をしないことも知っています。永遠の地獄が待っています。主の御心は、誰も滅びないことです。神は私たちが愛してくださっていますが、決してご自分の意志を押しつけることはなさいません。神は常に人

類に選択肢を与えてくれました。私たちクリスチャンは、永遠に救われているのです。しかし、パウロが示すように、私たちはまだこの罪の性質を持っています。罪を告白すれば私たちは赦されます。第一ヨハネ 1 章 9 節に書かれています。

I ヨハネ 1

9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を許し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

神は、私たちが罪を犯すことを望んでおられません。このことは、次の章、第一ヨハネの手紙 2 章にあります。第一ヨハネの手紙 2 章 1 節です。

I ヨハネ 2

1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。しかし、もし誰かが罪を犯したなら、私たちには、御父の前でとりなしてくださる方、義なるイエス・キリストがおられます。

イエスは、私たちが罪を犯すことを望まないとおっしゃいます。しかし、私たちが罪を犯してしまった時、イエスは私たちの代弁者となってくださいます。イエスは私たちの弁護人で、私たちを弁護してください。イエスは私たちのために死に、私たちが赦されるために命を捧げてくださいました。前章のエペソ人への手紙 4 章 30 節から 32 節で、パウロがこう言っています。

エペソ 4

30 神の聖霊を悲しませてはいけません。(あなたの生き方によって) …神はあなたをご自分のものとしておられます。…あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。

エペソ 4

31 無慈悲、憤り、怒り、怒号、そしりなどを、一切の悪意とともに、すべて捨て去りなさい。

32 互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。

私が好きな箇所のひとつに、ヘブル人への手紙 12 章 1 節と 2 節があります。

ヘブル 12

1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまとわりつく(特に私たちを簡単につまづかせる) 罪を捨てて、自分の前に置かれている競争を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。

2 信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。

ヘブル人への手紙の著者は、「多くの人が私たちクリスチャンを見ている」と述べています。人々が知りたいことは 2 つあります。キリスト教は本物か? まくいくのか? にコロナについては、人々は希望を求めています。ある人は、信仰を持つ人に希望を見出します。イエスの光を放つ人に。人格を持ち、誠実に生きている人に。ヘブル人への手紙には、あらゆる些細な、利己的な欲望、つまり私たちの中にある争いという欲望を捨てなさいと書かれています。人々の目の前でつまづいてしまうのです。悪い証人になるのです。偽善者とさえ思われるかもしれません。彼らは私たちと何ら変わりはないと思います。私たちは、世の中と同じようなのです。ヤコブの手紙 4 章 1 節から 2 節にこうあります。

ヤコブ 4

1あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出てくるのでしょうか。ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るのではありませんか。

2あなたがたは、欲しても自分のものにならないと、人殺しをします。熱望しても手に入れることができないと、争ったり戦ったりします。自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。

私たちの自己中心的な考えをすべて取り除き、イエスに倣い、イエスをよく表すことができるように祈ります。イエスがご自分の命を犠牲として捧げられたように。私たちが犠牲を払い、自分の利己主義を捨てることを祈ります。主に倣うなら、犠牲を払う生き方をしましょう。自分自身に死ぬことで、主に倣うのです。人々が希望を持てるように、自己の欲に死ぬのです。私たちの人格と誠実さにおいて、神の愛に倣うように。私たちの中に神がおられ、イエスが与えてくださることに真理があることを、人々が見るようにと願います。世界が私たちの中に主の光を見ること、彼らが自分たちの人生にも同じことを望み、イエス・キリストに心を捧げ、救われることです。エペソ人への手紙5章8節から14節にこう書かれています。

エペソ 5

8あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主にあって光となりました。光の子どもとして歩みなさい。

9あらゆる善意と正義と真実のうちに、光は実を結ぶのです。

10何が主に喜ばれることなのかを吟味しなさい。

11実を結ばない暗闇のわざに加わらず、むしろ、それを明るみに出しなさい。

12彼らがひそかに行っていることは、口にすることも恥ずかしいことなのです。

13しかし、すべてのものは光によって明るみに引き出され、明らかにされます。

14明らかにされるものはみな光だからです。それで、こう言われています。「眠っている人よ、起きよ。死者の中から起き上がれ。そうすれば、キリストがあなたを照らされる。」

失礼します。昔の生活には絶対に戻りたくありません。たくさんの闇と痛みと苦しみに満ちていました。華やかだと思っていた生活が、あまりにも長く続きすぎました。悲しみをもたらすだけでした。二日酔いが多く、酔って、恥ずべきこと、誇れないことをたくさんしてしまいました。話すのも嫌になるくらいです。嫌な思い出が多すぎるのです。しかし、私には同じようなことから解放されたキリストの兄弟姉妹がおり、私たちは話をします。時には、過去の話をすることもあります。ほとんどは、「もう二度と戻りたくない」と思い出すためです。私たちは、そのような生活から逃げるように、主の救いに感謝するように励まし合っています。ヨエル書2章25節にこう書かれています。

ヨエル 2

25「いなご、あるいは、バッタ、その若虫、噛みいなご、わたしがあなたがたの間に送った大軍勢が食い尽くした年々に対して、わたしはあなたがたに償う。」

神から離れた私の人生は、とても墮落しており、とても虚しいものでした。神は私を目覚めさせるために試練を与えられました。1999年に飲酒運転をして、それで目が覚めました。救われたのは、それから間もなくのことでした。主が私の人生にもたらされた試練に感謝しています。ここにいる多くの方が、同じような経験をされていると思います。試練があったからこそ、あなたはイエスに引き寄せられたのです。主は私の人生の多くを回復してくださいました。イナゴが破壊し、イモムシが食べ、毛虫が食べ尽くしたものの多くを。今は、たくさんの喜びで満たされています。今は、あまり教えたことがないので緊張していますが、…私の問題はもう十分ですね。しかし、私の心は、イエスのこととなると、喜びでいっぱい

なります。とても前向きになり、希望に満ち溢れています。私は救われて、成熟した男になりました。今の私は、以前よりずっと良い夫になりました。キッチンにいるジーニーに聞けば、私の話を全部話してくれますよ。私は、主の事について成熟してきました。また、より忍耐強く、より良い父親になりました。私の息子、ベンジャミン。主は彼の人生に偉大な働きをしておられます。彼は美しい妻と結婚しています。初孫が誕生する予定です。良い頃合いです、私は66歳ですから。主との歩みの中で、私がより賢くなり、より良い選択ができるよう助けてくださる主の聖霊に感謝します。エペソ人への手紙5章15節から20節。パウロは主から直接受け、私たちに警告しています。また、知恵ある歩み、御霊の力による歩みを励ましてくれています。パウロはこう語っています。15節から。

エペソ 5

15 ですから、自分がどのように歩んでいるか、あなたがたは細かく注意を払いなさい。知恵のない者としてではなく、知恵のある者として、

16 機会を十分に活かさない。悪い時代だからです。

17 ですから、愚かにならないで、主のみこころが何であるかを悟りなさい。

18 また、ぶどう酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊に満たされなさい。

19 詩と賛美と霊の詩を持って互いに語り合い、主に向かって心から賛美し、歌いなさい。

20 いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝しなさい。

昔の私の人生には、多くの愚かさがありました。多くの方々も人生に愚かさがあったことを証言できるでしょう。私たちは、自分に頼り、自分を信じ、自分の理解に頼って、愚かに生きています。その結果どうなったか？私にとっては、より深い絶望に追い込まれることになりました。箴言3章1節から8節。

箴言 3

1 わが子よ、わたしの教えを忘れるな。心に私の命令を保つようにせよ。

2 長い日々と、いのちと平安の年月が、あなたに増し加えられるからだ。

3 恵みとまことがあなたを捨てないようにせよ。それをあなたの首に結び、心の板に書き記せ。

4 神と人の前に 好意を得、聡明であれ。

5 心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。

6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。(直訳※あなたのすることすべてにおいて、主を求めよ。そうすれば、主が進むべき道を示される。)ほとんどの聖書ではこう書いてあると思います。「心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。あなたの道すべてにおいて主を認めよ。そうすれば、主があなたを導かれる。」7節と8節。

7 自分を知恵のある者と考えるな。主を恐れ、悪から遠ざかれ。

8 それは、あなたのからだに癒しとなり、あなたの骨に潤いとなる。

エペソ人への手紙5章16節に戻りましょう。パウロが私たちに語っています。

エペソ 5

16 機会を十分に活かさない。悪い時代だからです。

17 ですから、愚かにならないで、主のみこころが何であるかを悟りなさい。

神は私たちに祈ることを望んでおられるので、神に導いてもらうべきだと思っています。主とのデボー

ションはいつも良い時間です。その日、主が私たちのために用意してくださっているものを求める時です。主は忠実に私たちに何をすべきかを示し、私たちを送り出してください。カネオへの小さな聖書学び会の男性たちが、外に出て行って福音を伝えたとき、私はとても感動しました。彼らは祈り、主が答えてくださいました。主は一人の男の心に、アウトリーチを行う思いを置かれました。この人たちとその家族は、平日の火曜日と金曜日に集まっています。主は、イエスの愛を伝えるために何かしなければならないと、彼らの心に置かれたのです。クリス、ケモ、ノーマン、エリック、リリック、イザヤ、ガブリエル、ガブリエル・シニア、ロニー、カポノ。彼らはアウトリーチをして、福音を伝えました。オアフ島の低所得者向け住宅プロジェクトに出向いたのです。主イエスが全面に出ていました。主の光を照らし出したのです。彼らは、全世界に出て行きなさいという主の呼びかけに従順であったのです。アウトリーチでは、大人のために祈り、子どもたちのために祈りました。食料品や洗面用具を入れたケアバッグを50個持って行きました。子どもたちのためにピザを持って行きました。彼らはギターを持って行き、主を賛美し、歌を歌いました。そして何より、彼らはイエスの愛を持っていったのです。今日、主はあなたに何をするように心に思いを置かれていますか？ を示すために聞いているわけではありません。私はただ、私の心からあなたへ愛をもって語っています。多くの方が今も仕えておられ...多くの方はすでに主のために奉仕しています。多くの方がフル稼働で、本当にお忙しいと思います。家庭、学校、仕事。これらのことは、あなたの時間の多くを占め、あなたは自分のしていることを愛しているのです。人を思いやり、愛することで、主に仕えるのです。主に仕えたいと思っても、何をしたらいいのかわからない人は、祈りの中で主に持って行ってください。主は、ご自分の時に、ご自分の方法で、ご自分の栄光のために、あなたの道を示し、導いてくださいます。主はすぐに御心を示されるかもしれませんが、待たされるかもしれません。主は、ジーニーと私を、2005年にカルバリーチャペルに導かれました。私たちは16人の小さな教会でした。そのほとんどがJ.D牧師のご家族でした。最初の日曜日、私はJ.D.牧師に会いました。教会に通っていた友人も16人のうちの一人でした。一緒に聖書の学びをしていました。つまり、16人いるうちの1人が私を知っていたわけです。彼はJ.D.牧師に、私がギターを習っていることを話したそうです。ジーニーと私は、ただ単純に手伝い始めたんです。私たちは教会を開けて、コーヒーを淹れ始めました。当時、夫婦で礼拝賛美をリードしていた人がいました。違和感はありましたが、礼拝であり、私たちは神を賛美していました。J.D牧師は知恵の中で、待っていたのです。彼は半年ほど待ってから、私が礼拝賛美をリードすることについて祈らないかと尋ねてきました。聖書には第一テモテの手紙に、こう書かれています。

I テモテ 5

22 だれにも性急に按手をしてはいけません。

パウロはテモテに、教会の指導者を選ぶときには注意するようにと諭しているのです。ある人は本当に才能のある歌手かもしれません。ある人は聖書の知識が豊富かもしれません。ある人は、私とは違って、弁が立ち、教師として印象的かもしれません。しかし、主を待ってください。主はその人の性格、誠実さ、高潔さを示してくださるでしょう。J.D.牧師は私においてそうして、彼は待ちました。私は17年間、ここカルバリーチャペル・カネオへで賛美をリードしました。今、主は私に別の立場で仕えるように、副牧師として召されました。これを消し去ろうとしたのですが、そうしなくて良かったです。説教壇で教えることを楽しめませんが、しかし、神は。アーメン？ (会衆：アーメン) 人を助けることは楽しいし、好きです。私はここで、「慈愛ミニストリー」を担当しています。何か困ったことがあったら、助けが必要な

ときは、会いに来てください。私があなただの手助けをします。聖霊があなただを助けてくださいます。神があなただを助けてくださいます。主が私を用いてくださるでしょう。アーメン。

このカルバリーチャペル・カネオヘ教会には、たくさんのニーズがあります。本当に主を愛するスタッフが揃っています。本当にお互いを愛しているスタッフばかりです。私たちはよく協力し合います。私たちは、主に教えられ、イエスと共に歩む方法を教えられ、本当に祝福されています。アーメン。(会衆：アーメン) お立ちください、祈りましょう。

天のお父さま、主よ、この御言葉に感謝します。J.D.牧師が言ったように、彼のようなロバを用いることができるなら、私のようなロバも用いられることを知っています。J.D.牧師が言ったように、彼のようなロバを用いることができるなら、私のようなロバも用いられることを知っています。J.D.牧師が言ったように、彼のようなロバを用いることができるなら、私のようなロバも用いられることを知っています。あなたの愛と優しさに、ただ感謝します。あなたがこの部屋にいる私たち一人一人、オンラインの方も含め、私たちの人生にあなたの憐みと恵みがどのように注がれ、あなたが私たちにどれほど良いお方であるかについて感謝します。あなたの御言葉が、こう伝えています。「静まって、わたしが神であることを知れ。」(詩編 46:10 参照) あなたはこう仰います。

「わたしの名で呼ばれているわたしの民が、自らへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求めてその悪の道から立ち返るなら、わたしは親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地を癒す。」

(Ⅱ歴代誌 7:14)

オンラインで見ている人たち、今日ここにいる人たち、今日、あなたを知らない人、教会に来ていてもあなたに心をゆだねていない人のために祈ります。これは彼らのための祈りです、主よ。祈りの言葉を導く必要はありません。彼らはただ、あなたを呼び、あなたが入ってくださるよう求めるだけで良いのです。あなたは答えてくださいます。主よ、あなたがお造りになったこの日を感謝します。

この時、私たちは共に交わり、この時、あなたを学び、あなたを愛することができるのです。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7